

海の汚染源としての川

- 1 自治体名： 沿海地方
- 2 発表者名： エレナ・キセレフスカヤ (Elena Kiselevskaya)
(スパスク・ダリニイ市青少年自然研究所)
- 3 活動名： 研究
- 4 活動期間： 2011-2012 年
- 5 活動場所： ウスリースク市、キロフスキー町、ウッスリ川、ラズドリナヤ川
- 6 活動人数： 1名
- 7 活動をはじめた経緯
川が海洋環境の汚染源になった問題が心配になった。

8 発表要旨

きれいな海は人間にとって、あらゆる資源の源である。しかし海に流れ込む川がいろいろな汚染物質を運んでいる。日本海に流れ込む殆どの川が非常に汚染しているため、この研究も緊急の課題である。

調査の際、次の仮説を立てた。川は海洋環境の主な汚染源である。

研究の目的は、アムル川、ラズドリナヤ川、ウッスリ川を海洋環境の汚染源として調べることである。

研究の結論は以下の通りである。

1. 沿海地方の川の水と 3 億 m³ の未処理の汚水が海に流れ込む。アムル川だけで日本海に毎年、25 万トン以上の汚染物質を運ぶ。
2. 川の水と一緒に固形廃棄物だけではなくて、目に見えない汚染物質が運ばれている。
3. 水質基準に適合している川が一つもない。
4. 固形廃棄物は川に広がって、狭いところで堆積する。また、川の流れに乗って、海洋まで運ばれ、河口干潟に「ごみの島」ができる。
5. 多くの課題について、当時者の意見が共通していないため、越境汚染水の全体量を把握するのが難しい。
6. 事故等の場合、有毒な廃棄物、未処理の汚水がしばしば流れる。

上記の結果に基づいて、川に入る廃棄物を減少させるために次の提案をする。

1. 町、村、市民の休養場では、廃棄物の収集及び分別ができる場所を設置する。
2. 古い排水処理設備を新しいものに入れ替える。排水を直接に川に流す市町村では、排水処理施設を設置する。
3. 川沿いの不法投棄を排除する。
4. 川沿いのごみ拾い、川の中のごみすくい等に地元の住民に参加してもらう。
5. 定めてない場所での洗車に対して、処罰を導入する。斜面の地形のため、汚染水が川に流れ込む。

川による海洋汚染は、ロシアだけではなく、他の海に面している国でも緊急課題となっている。